

## <ちょこっとコラム⑮>

(祭色 その③)

### 「赤」 Red

今日の復活前主日（しゅろの日曜日）から復活日前日の聖土曜日までの一週間を聖週（*Holy Week*）と言いますが、その間の祭色は「赤色」となります。1990年の祈祷書改訂までは、大斎節中は一貫して「紫色」、受苦日には「黒色」が用いられていました。現在は、聖週には悔い改めよりも主イエスの受難に焦点が当たるべきとして、血の色である赤が用いられることとなりました。赤は、聖なる幼子の日、聖ステパノ日など、殉教者の記念日にも用いられます。そのほか、聖霊の炎を表す色として、聖霊降臨日や聖職按手式にも用いられています。